



文星芸術大学
附属中学校・高等学校
〒320-0865
宇都宮市陸町1-4
電話(028)
636-8000(中学直通)
636-8585(高校直通)
http://www.bunsei-art.ac.jp
発行 教務部・学報編集係

事を敬う 習を鍛え

参与(進学統括) 牧島勝利



本校の校歌は、前校長・上野秀文先生の作詞によるものです。

秀文先生は、本校の創立者である父・上野安紹先生が四十五歳で急逝されたため、昭和十五年に二十六歳の若さで本校の校長に就任されました。以来、平成七年に八十二歳で逝去されるまで、五十六年の長きにわた

り、本校の校長を務められました。

本校の校歌には、秀文先生の校訓に対する熱い思いが込められています。

◆ 本校の校訓は、本校の教育の心柱をなすものであり、

将来にわたって私たちを支持えてくれるすばらしい人生訓でもあります。本校の校訓を見事に読み込んだ校歌

は、私たちの心に強く訴えるものがあります。本校の校歌を歌うとき、私はいつも深い感動を覚えます。

一昨年、本誌二十七号で

文星芸大附now!
は、平成17年4月に「文星芸術大学附属中学校」の開校に合わせて発行されました。

「創立百周年記念特集 校訓・校歌を考える」を二頁にわたって掲載しましたが、

ここでは、校歌の三番にある「事を敬う 習を鍛え」に注目して、ともに考えたいと思います。

◆ 「事を敬う 習を鍛え」の前には「いざや芙蓉の力を秘めて」とあります。

ここでいう芙蓉は、蓮の美称です。蓮のつぼみは、それまで蓄えてきた力を吐き出すように、ポンと一気に開きます。

「事を敬う 習を鍛え」と

は、何事にも全力で取り組むライオン主義を身につけることです。蓮のつぼみが開花の力を蓄えるように、皆さんは本校においてライオン主義を体得し、その力をもって「産業場裡を新

に拓く」のです。場裡とは、あまり使われない言葉ですが、広辞苑には「その事が行われる範囲内」とあります。場裡とはエリアのことで、産業場裡は産業界とでもいえましょうか。

◆ ここでは、ライオン主義をもって「将来、産業界に新風を巻き起こす」と高らかに謳っています。そして、「雄飛誓わん 我等の覚悟」と実に壮大な呼びかけで結ばれています。

◆ 皆さんは、朝に「校訓」を唱和し、夕に「ライオン主義」を唱和します。ここに込められている「三敬精神」は、まさに「文星の心」であり、生涯にわたって皆さんを支える「杖ことば」になるでしょう。



蓮の花 (栃木市・つがの里にて)

- 1 p <巻頭言 牧島先生より>
- 2 p <高校 夏季特活の過ごし方>
- 3 p <高校 輝け!文星健児>
- 4 p <中学 YMCA留学生来校>
- 5 p <中学 体育祭・部活動情報>
- 6 p <文星フォトギャラリー>

中学校行事予定

- ▽七月
 - 19日(金) 第一学期終業式
 - 23日(火) 25日(木) サマーキャン(二年尾瀬)
 - 22日(月) 25日(木) 福祉体験(三年・ケアブラザ而今)
- ▽八月
 - 9日(金) 11日(日) 英語研修(二年ブリティッシュヒルズ)
 - 16日(金) 全校登校日
 - 17日(土) 一日体験学習
 - 20日(火) 22日(木) 職場体験(二年)
 - 28日(水) 第一学期始業式
- ▽九月
 - 10日(火) 13日(金) 修学旅行(三年)

高校行事予定

- ▽七月
 - 19日(金) 第一学期終業式
 - 27日(土) 野球応援(一年)
 - (高校野球準決勝)
 - 28日(日) 野球応援(二・三年)
 - (高校野球決勝)
 - 30日(火) 甲子園出場時全校登校日
- ▽八月
 - 9日(金) 全校登校日
 - 10日(土) 一日体験学習(宇河地区以外)
 - 11日(日) 一日体験学習(宇河地区)
 - 28日(水) 第二学期始業式
- ▽九月
 - 3日(火) 校内漢字テスト
 - 17日(火) 20日(金) 修学旅行(二年)

高等学校

夏季特別活動 期間の過ごし方



生徒指導副部長 均 藤 伊 藤

夏季特活期間に入ると、友人と外出したり自宅内でゲームをやったり携帯電話を使う時間が増えるなど大人の見えていない自分だけの時間が出る。休みである解放感や少し大人になった心が、行き過ぎた行為に至り、考え付かない位の問題行動に発展してしまう事がある。

そこで、何か一つ行う時に、様々な事を深く考えてから行動する事を願いたい。携帯電話でのトラブルや交通事故などを起こしてしまい、不安を抱えた日々を過ごしていたり、一生を棒に振る様な大きな事に発展した例を見た事が何度もある。もう君達は、子供では無く大人に一步踏み入れている社会人の一員となつてきているはずだ。自分の行動を客観的に見つめ正しい判断を下すことを望む。そし

て自分自身を大切に、一生忘れられない意義のある夏にする事を期待する。



学習指導部長 之 根 雅 中

特活期間を前にし、リラックスした気分であるかもしれませんが、留意するべき事を二点挙げておきます。①一日のタイムスケジュールと、特活期間全体のスケジュールを立てる

注意点は、「詰め込みすぎない」こと。最低限やるべきことを考えて、やや低いハードルを最初から設定しておけば、必ずそれ以上は勉強できるはず。無理に新しいことに取り組む必要はありません。教科書を読み直したり、問題を解き直したりするなど、第一学期の復習に時間を使ってください。

②規則正しい生活習慣を心掛ける
起床、就寝、食事などの生活の基本となる時間は、学校があるときと同じになるように、特に午前中は必ず勉強にあてること。また、毎日の学習は決まった時刻に始めることが大切です。自

宅では学習に集中できないのであれば、地域の図書館や市民センターなどの学習室を利用するのがよいでしょう。

ライバルはあなた以上に学習に励んでいます。生活リズムを崩したり、宿題を後回しにしたりすることのないように注意して、有意義な特活期間を過ごしてください。



就職指導部長 司 谷 浩 湊

近年は、就職希望者にとって強い逆風が吹き、本校においても厳しい就職指導が続いている。しかし、その風も少しずつながら弱まりの兆候を見せつつあり、七月一日から始まった求人公開では、前年よりも多少ながら事業所の紹介が増え、生徒にとっては選択肢が広がり喜ばしいことである。

しかしながら、依然として求人倍率は高く、内定を得るまでの道のりは困難であり事業所の買い手市場は間違いない。よって今年も選考基準は高く、より高度な資質を求められるであろう。就職試験まで残された期

間は約二ヶ月を切ってきたが、この夏季特活期間の過ごし方次第によっては人物的にも学力的にも大きく成長し、個の力を伸ばせる時期である。今年の三年生諸君も自己覚醒に努め、大いに成長し、九月から始まる就職試験に自信を持って臨み、第一志望先から内定を得てもらいたい。



カレッジインターシップ

六月十一日、普通科総合コースと総合ビジネス科の大学進学希望の三年生が、帝京大学宇都宮キャンパスにおいて開催されたカレッジインターシップに参加しました。

当日は様々な学部・学科の授業を体験できることから、生徒たちはレベルの高い講義や実習に参加し、進学に向けての意識を一層高めることができました。



校内体育大会

六月七日、本校グラウンドにおいて創立記念式典および新入生歓迎体育大会が行われた。式典では理事長より式辞を頂き、引き続き実施された体育大会では、サッカー、バレーボールの二種目が行われた。雨が心配されていたが、熱戦が繰り広げられた。「優勝」という目標に向かい力を尽くした経験はクラスの団結力、生徒同士の友情をより強いものにしたに違いない。

大会結果

- 二種目総合
- 【優勝】
 - 一年 八組(普総)
 - 二年 九組(普総)
 - 三年 一組(英進)
- 【準優勝】
 - 一年九・十組
- 【三位】
 - (普総、美デ)
 - 二年 七組(普総)
 - 三年 五組(普総)
- 【三位】
 - 一年 五組(普総)
 - 二年 六組(普総)
 - 三年 七組(普総)

総合学習・総合体験

普通科総合コース

《スポーツ》

六月二十一日、二・三年生スポーツ選択者を対象に、スポーツトレーニング実習を玄武館・剣道場にて行いました。講師として福島医療専門学校先生をお迎えして、インナーマッスルのトレーニング方法を学びました。リズムに乗りながら簡単なストレッチを行いました。ハードな動きもありましたが、生徒たちは楽しくトレーニングをしている様子でした。

総合体験

《総合ビジネス科三年生》

六月十四日、芳賀町総合情報館にて地域文化と芸術の融合特別秀作展「震災と芸術」を見学しました。文星芸大・短大の地域連携事業であり造形・絵画・詩など震災をテーマに制作された様々な作品に生徒は真剣な面持ちで見入っていました。また、短大が「道の駅はが」に提供する地産地消レシピによる一日三十食限定弁当を食べました。地域社会との連携を深め、地域に貢献することの重要性を学ぶことができた貴重な一日でした。

中学校

夏期特別教育活動 期間中の過ごし方



山本 誠 部長 指導 生徒

夏期特別教育活動期間(夏休み)は、三十九日間に渡る長い休みですが過ごし方ひとつで、楽しい夏休みになったり、つまらない夏休みになったりします。より良い夏休みにするために自主的に計画を立案し、成果が上げられるようにしてもらいたいと思います。また、生徒諸君一人ひとりが、第二学期始業式に全員無事に元気で登校できるようにしてほしいです。そのために、私から三つの留意点を述べますのでよく考えてみてください。

一つ目は、自分の計画をきちんと立て、計画表を作成してください。最優先する学校行事を把握し、それから家族旅行の予定、学習計画などを立てることが良

いでしょう。特に、課題は早めに終わらせることが大切です。

二つ目は、問題行動や事件・事故(水難事故・交通事故)などに遭わない、巻き込まれないということ。夏休みは様々な誘惑に陥りやすい時期でもあります。軽率な行動を慎み、本校の生徒としての自覚を持って行動してほしいと思います。また、携帯電話等のトラブルも非常に多くなっています。夏休み中は開放的になりがちですので、十二分に気をつけて使用するよう心がけてください。

三つ目は、夏休みの長い期間、学校から離れて家庭中心の生活をするわけですから、家族とのコミュニケーションを十分にとつてほしいと思います。外出をする際には、必ず行き先や帰宅時間、誰と行くのかなどをきちんと家族に伝えるようにして下さい。

この三つのことに留意し、有意義な夏休みであったと言えるようにして下さい。夏休みを通して、一回り大きく、たくましくなった生徒諸君に会えることを楽しみにしています。

ボランティア実践 足尾植樹体験

六月一日(土)に足尾町に出向き、ボランティア活動の一環として、植樹体験を行ってきました。本校では、四年前まで、年に一回行っていた行事ですが、今年度から再開しました。今回は、「足尾に緑を育てる会」の方々のご協力をいただき、全学年で行いました。

足尾に緑を育てる会の方から、なぜ足尾の山々が荒廃してしまったのかなど、足尾町の歴史の話なども聞くことができました。

実際の植樹体験では、急な斜面もあり、大変な場所での植樹もありましたが、生徒たちは一人ひとり、丁寧に植樹を行っていました。今回の経験は、生徒たちが、自然環境保護について考える良い機会となりました。



記念碑の前で

社会科見学

六月七日(土)本校の創立記念日に、社会科見学で会津にある鶴ヶ城と日新館に行ってきました。

現在会津地方は、NHK大河ドラマ「八重の桜」の舞台になっており、福島復興の目玉として、多くの観光客が足を運んでいます。

鶴ヶ城は、戊辰戦争の舞台となった所で、案内ボランティアの方々から説明を聞きました。

日新館は、會津藩校が人材育成を目的として開いた学校で、白虎隊が学んでいた学び舎として有名です。また、「仕の掟」が有名で、「ならぬものはならぬ」という名言もあります。

また、大河ドラマの主人公である、山本八重は女性が茶道を行うきっかけを作った人物で、第一学年の総合学習で行っている授業とも関わりが深いところがあります。

今回の社会科見学では、日本の歴史を学ぶ良い機会となりました。生徒の感想を紹介します。

生徒の感想

二年二組 東盛 竜弥

会津藩の城である、鶴ヶ城の城壁には、昔の人々が岩を切り出し、積み重ねて作った跡が今も残っている。この城壁を見ると、その技術の高さに驚かされる。今もそのまま残っているのは、とても貴重だなと思った。

鶴ヶ城に深い関わりを持つ、今話題の新島八重は、父親と弟を亡くした上に、兄も捕えられてしまう。そして、生まれ育った会津の地まで追われてしまった人だ。

それでも、英語やキリスト教、茶道や看護を学び、何事にも柔軟に対応できる人だったことを知った。僕も見習いたいと思った。

また、鶴ヶ城の後に訪れた日新館では、かつてそこで学んでいたという白虎隊からも学ぶことが多かった。僕は、常々怠けてしまう

ことがあり、その度に後悔する。それに比べ、白虎隊の少年達は「仕の掟」を守り、何事にも一生懸命努力していた。これからは、僕もそういうところを心掛けていけると良いと思った。

YMCA留学生来校

YMCAイングリッシュスクールとちぎ宇都宮校の留学生(十三名)を七月三日(水)の三時間目からお昼の時間まで受け入れました。留学生は、三年生と二年生の各クラスに分かれ、一緒に授業を受けました。

三年生は、体育の授業と道徳の授業を一緒に行いました。体育の授業では、男子がサッカー、女子がソフトテニスを行いました。道徳の授業では、国際理解ということで、文化の違いなどを英語で話し合いました。二年生は、美術の授業で似顔絵の作製、音楽の授業で器楽の演奏、家庭科ではパーソナルカラーの授業を行いました。

普段接することのない同年代の外国人たちと生の会話をすることができ、生徒たちにとって良い刺激となりました。



パーソナルカラーを見つけました!

体育祭

六月十五日(土)に、本校創立以来初の体育祭が開催されました。昨年度にも体育祭が予定されていましたが、雨のため球技大会となつてしまつたので、今回初めて外で実施することができました。

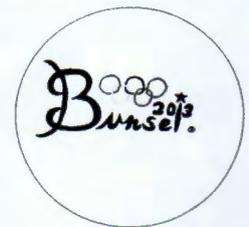
種目は、大縄跳び、障害物競争、綱引き、一か八か走、玉入れ、選抜リレーの計六種目が行われました。各学年が紅白に分かれ競技を実施し、優勝を目指して頑張る姿が印象的でした。また、PTAの参加種目もあり、生徒たちに交じつて、熱戦を繰り広げていました。結果は次のとおりです。

優勝	白組	三年一組
	二年二組	
準優勝	紅組	三年二組
	二年一組	
	一年一組	

スローガン 最優秀賞
『駆け抜けろ』

勝利という名の
『ゴールライン』
一年一組 佐藤 拓真

シンボルマーク 最優秀賞



二年二組
渡 辺 貴 瑛

【生徒の感想】

一年一組 片桐 恒輝
六月十五日(土)に体育祭を行った。ラジオ体操や大縄、障害走、一か八か走、綱引き、選抜リレーといった七つの種目が行われた。その中で僕が印象に残っている種目を一つ書きます。僕が最も印象に残っているのは、大縄です。体育祭の当日まで、朝早くからクラスのみんで大縄の練習を一生懸命やりました。どうしたらつまずかずに飛べるのだ



最終得点結果



白熱した選抜リレー



選手宣誓

ろうと、みんなで考えた時や回し方が悪いとケンカになった時もあった。そんなことがあったが、ついに当日を迎えた。僕は大丈夫かなと不安だった。しかし、心配することはなかった。みんなの気持ちが一つになり、絶対に飛んでやるというオーラが出ていた。結果は、練習では十回も飛べなかった全体飛びで十七回も飛ぶことができた。八の字飛びはあまり飛べなかったが、みんなの気持ちが一つになつて、頑張っていたと思う。このような気持ちを今後活かしていきたい。

部活動情報

県大会出場おめでとう

特殊運動部(水泳)二名が、春季県大会に出場してきました。結果は次のとおりです。

- 二年男子平泳ぎ 第二位
百・二百メートル
- 二年一組 安達 瑛大
- 三年男子背泳ぎ
百・二百メートル 出場
三年二組 中村 峻輔

宇河地区総体始まる

七月二十日(土)から、宇河地区総合体育大会が開催されます。三年生にとつては、最後の大会となりますので、三年間の集大成として、ぜひ頑張ってください。保護者の皆様におかれましても、応援ご協力のほどよろしくお願ひします。

部活動 総体日程(7月)

種目	20日	21日	22日	場所
剣道	○		○	県体育館
ソフトテニス	○	○	○	屋板・総合グラウンド
卓球	○	○	○	清原体育館・トレセン
バスケットボール	○			トレセン
水泳			○	総合グラウンドプール
バトミントン	○			河内体育館

※演劇部は、宇都宮市文化会館

文星散步道

(題字 大木教頭)

(25)

「両親への感謝」

仁村 寿子 (保健体育科)

先日テレビで出産のシーンが目飛び込んできました。無事に赤ちゃんが生まれ、とても感動的なシーンだったが、次の瞬間状況が一転した。母親が出産数時間後に「急性妊娠脂肪肝」という病気で、意識不明になり、数日後再び目を覚ますことはなく、亡くなってしまいました。というドキュメンタリー番組だった。意識がない状態でも、赤ちゃんが母さんのおっぱいを一生懸命吸っている映像などもあり、あまりにも衝撃的な結末に涙が溢れて、胸

がいつぱいになった。私は数日後に出産を控えていたため、怖くなり正直見なければよかったと思つたが、改めて出産というのは、赤ちゃんも母親も命がけだということを実感し、それと同時に自分を生んでくれた母親に感謝の気持ちでいっぱいになった。実際に日本では二万人に一人、世界的にみると二百五十人に一人という確率で出産時に母親が命をおとしているという。数だけ見れば、日本はそれほど多い数字ではないかもしれない。しかし、「母子共に健康であ

る」というのが当たり前ではないということを実感した。私もその後出産を迎えたが、確かに出産は命がけだった。だからこそ、我が子の顔を見た瞬間に自然と涙が溢れた。退院の日。その日は、偶然にも私の誕生日だった。母が命をかけて私を生んでくれた日だと思つると、自分だけの命ではない気がした。母に「生んでくれてありがとう」と一番に伝えた。今年の誕生日は今まで以上に両親に感謝の気持ちでいっぱいになった。

文星フォトギャラリー



高校／新入生歓迎体育大会



高校／カレッジインターシップ

高校／トレーナー実習

高校／アーク溶接

高校／フォークリフト実習



中学校／留学生と交流

中学校／体育大会



中学校／社会科見学